

株式会社

東松島ファーム

事例 1 2

県内最大級の完全人工光型無人化植物工場による環境負荷の低減

調達

生産

流通

消費

取組概要

【目的】

品質の安定や年間供給の確保のため、持続可能性を考慮した環境に優しい生産を志向し、SDGsの実現を目指す。

【内容】

- 1 完全閉鎖の人工光型植物工場で、化学農薬を使用せずにサラダ用葉物を生産し、CO2排出削減を図る。
- 2 365日稼働し、安心・安全で、品質と価格が安定した新鮮な野菜を生産している。
- 3 技術開発の他、同業他社へのコンサルタントを行う。

○住所

宮城県東松島市浜市字新田 8 3

○URL

<https://hm-farm.co.jp/>

○取組内容

- ・クリーンルームによる農薬不使用生産
- ・LED照明で土を使わない水耕栽培
- ・安定供給、安全・安心な品質を提供



栽培施設のイメージ



自動化・効率化された管理工程

取組の成果

- 1 完全閉鎖型の工場で衛生管理を行うことにより、無農薬での栽培を実現している。また、燃油使用の削減や水の循環利用も行い、環境負荷低減に貢献している。
- 2 天候に左右されない栽培と多段式の栽培棚による面積当たりの生産性向上により、約10種の葉物野菜を効率的に生産し、定期・定量出荷に対応している。
- 3 植物工場の利点を生かし、栽培棚の自動搬送の仕組みを構築し、省力化を実現している。



代表取締役
阿部 基教 氏



生産体制の確立による安定供給の実現